

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H1エリアE-C6タンクの水位の異常を示す「H1E-C6 RL下限逸脱」の警報発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、H1エリアE-C6タンク水位の異常を示す「H1E-C6 RL下限逸脱」の警報発生を確認。 また、水位変動を伴う作業は行っていないにも関わらず、水位計指示値が約10200mmから0mm以下へ下限値逸脱したことを確認。 現場を確認し、当該タンクに異常がないこと、隣接するタンクの連結弁を開き、隣接タンクの水位計にて当該タンクの水位に変動がないことを確認。 当該水位計の故障と判断し、予備の計器と交換を行った結果、警報の消灯および水位計指示値に異常なしを確認。</p>	GⅢ	10月6日
2	<p>【多核種除去設備の処理水貯槽25(H4N-B3)タンク水位の異常を示す「偏差低」の警報発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、多核種除去設備の処理水貯槽25(H4N-B3)タンク水位計の異常を示す「偏差低」の警報発生を確認。 また、水位変動を伴う作業は行っていないにも関わらず、水位計指示値が上下に変動しながら低下したことを確認。 現場を確認し、当該タンクに異常がないこと、隣接するタンクとの連結弁を開き、隣接タンクの水位計にて当該タンクの水位に変動がないことを確認。 当該水位計の初期設定および結露水の拭き取りを実施するも、当該警報が再発したことから、当該水位計の故障と判断し、今後、予備の計器と交換予定。 なお、計器交換するまでの期間は、隣接タンクとの連結弁を開き、隣接タンクの水位計で水位を確認できるため、系統への影響はない。</p>	GⅢ	10月8日